

城岳こども園

事業報告書・事業の反省と課題

(平成30年度)

30年度 城岳こども園・事業の反省と課題

1. 予定していた厨房が設置できなかった。
 - ・設計士の途中降板のため。
 - ・電気の容量、水道の水質の問題等で同じ敷地内の小学校から切り離し直結にしなければならないなど又、市からの建物や土地が借地のため、想定以外の手続きが多数発生し着工の遅れとなった。
2. 31年度に向けた3歳児の受け入れと職員の増員。
 - ・職員の確保ができず3歳児を受け入れることが出来なくなかった。
 - ・交通のアクセスが良くない為、職員用の駐車場の確保を計画していたが、空きがなく確保することができなかった。
3. 園庭の整備
 - ・園庭の危険な場所や危険なものの排除、壊れたウサギ小屋の整備、ブランコ購入遊具(太鼓橋・滑り台)安全点検の強化5年以内の取り換えのための予算確保。

31年度の課題と改善策・改善計画

1. 31年度内に厨房の設置をする。
 - ・設置に係る業者と連絡を取り業者任せにせず情報を共有し自ら先頭に立って動く。
2. 3歳児クラスの設置
 - ・職員を3人増員し32年度に向けて3歳児を受け入れられるようにする。
 - ・ハローワークや民間の求人広告や園の入り口付近に求人広告を張り出すなど呼び込む。
 - ・駐車場の確保など働きたくなるような環境づくり、応募したくなるような呼びかけや情報の提供など研究し求人広告で人材の確保に努める。
3. 第三者評価の受診
 - ・公私連携に移行し2年目に一回目の第三者評価受診が望ましいという協定の元、今年度受診となるが、当福社会において初めてという事もあり想像がつかないがよい学びとなり、その結果、新たな改善や課題が出ると考えられるので職員一同改善に取り組み、より良い園づくりを目指す。
4. 固定遊具の購入及び安全点検の強化